

飯土山

2014年5月11日 リーダー:藤井 一義



↑山頂にて残雪の残る山々を背景に集合

「飯土山」の山行報告 担当リーダー:藤井 一義

今月の山行は、上越湯沢町の岩原スキー場の上に見える三角形状の山で、「飯土山」に登山しました。この山は姿も富士山に似ているため、今回の遊友テーマ富士山になぞらえて上田富士に登ることにしました。心配した天候は、先週まで雨マークであったのに次第に変わり快晴の青空です。少し早目のせんげん台5:45、春日部6:00集合、25名で出発しました。一路東松山IC～関越自動車道～湯沢ICで降りて岩原スキー場のリフト下へ駐車場は締切シーズンオフですから、空いている場所に駐車しました。以前スキーに来ていた時に利用した見覚えあるロッジに話をして、トイレを借りました(スキーシーズンオフで皆しまっていてそこだけはオープンしています)準備体操後にゲレンデ沿いに登ってゆきました、ゲレンデ上の遠方に飯土山の三角形状が姿を現していますが近いようで結構遠いです。ところどころ残雪が残っていました。第三リフト上部で休憩し、1名下山しましたが待ち合わせの先ほどのロッジと時間をほぼ決めて、24名は登山口から仕切り直して、頂上に登ってゆきました、神弁分岐に11:15頂上に11:45に到着、ほぼ2時間20分でした。頂上はあまり広くないが、景色は360度の大展望です、私の好きな八海山などの越後三山から谷川岳や万太郎山等の谷川連峰、苗場山、などなどズラリと素晴らしい景色です。今日は真

に良い天気でかなり遠方まで望めました。昼食は頂上でゆっくり取れた後に、下山は少しルート変えてゴンドラ山頂駅に降りスキーの迂回コースに雪が残っているのを頂上から見つけたので、天気も良いので残雪を踏みたくなりこのコースをゴンドラ沿いにジクザク降りして、ついでに尻にナイロンを引いて雪すべりも楽しみました。再びゲレンデに出てきて、残雪あとならまだフキノトウがあるしまだ取れるかと思い少しコースを見てフキノトウを思い思いにとって楽しみ下山しましたが、ゲレンデ下りは結構きつかったです。バスの待つふもとに降りてまた同じトイレを借りて、お礼に数人でビールを買って飲み、温泉に向かいました、やはりシーズンオフで広い湯処はなかったが湯沢健康ランドがあるので、あらかじめ用意しておいたクーポン券で仮予約しておいたので割引してもらい湯に浸かった後は恒例のビールを味わってから帰りは湯沢IC～高崎ルート佐野ルートで東北道久喜ICで降りて、全員25名無事帰路につきました。



↑岩原スキー場のゲレンデを登る、岡本さんと藤井リーダー



↑飯土山 山頂までもう少し。



↑天候に恵まれ眺望は最高。山頂にて。



↑下りのルートは、雪がかなり残っていました。

5月山行「飯土山」に参加して/戸邊茂雄

5月11日(日)、飯土山の山行に参加しました。飯土山(いいじさん)は、新潟県南魚沼市と南魚沼郡湯沢町にまたがる標高1111.8mの山です。山名の由来については山頂部に穀物の神様を祀ってあることから「飯」、富士山の姿に似ていることから「土」、をとて飯土山としたとされています。また、荘園である上田荘が近辺にあったことから別名「上田富士」とも呼ばれています。頂上からの360度の眺望は素晴らしい、谷川連峰の美しい姿をはじめ、八海山・中ノ岳・駒ヶ岳の越後三山や巻機山などの雄大な山景色が、また視界が良ければ佐渡ヶ島まで望めます。

朝5:45にせんげん台で9名、6:10に春日部で16名の合計25名を乗せて舘山さんの運転で出発しました。天気は文句なしの晴れです。8:03に高崎JCTを通過し、8:57に湯沢ICを降りて岩原(いわっぱら)スキー場の駐車場に9:15に到着しました。藤井リーダーの音頭で準備体操をして9:40に登山開始です。まずはリフト沿いにゲレンデを登って行きます。所々に残雪があって、雪の解けた後に躊躇の躉がたくさん出ていて、山菜取りをしている人もおりました。雪の被った山々、新緑の木々、タムシバの白い花、足元の躉の躉などを見ながらゲレンデ斜面を登ってリフトの上に10:20に着きました。この標高が丁度700mで、ここから登山道を登って行きます。登山道の両脇は新緑の木々で、遠くには雪の被った山が見えます。花も咲いておりました。最も目立ったのはタムシバの白い花です。他にもシャクナゲ、ミツバツツジ、足元にはイワウチワ、ショウジョ



↑左から西川さん、戸邊さん、中島さん

ウバカマ、イワカガミが咲いていました。中でもイワウチワが見ごろで沢山咲いておりました。今回私はキクザキイチゲの花を見たかったのですが残念ながら出会えませんでした。花や景色の写真を撮りながら登って行き11:15に神弁分岐を通過して11:40に飯土山の山頂に到着しました。雲一つない晴れでしたので、頂上は360度の眺望が楽しめました。12:30までお昼を食べながら景色を堪能しました。そして下山は上りとは別ルートで、まずゴンドラ山頂駅の方に向かい、ゴンドラの下を下りました。ここには雪がたくさん残っており、雪を踏みしめながら歩いて下りました。女性群は袋をぶら下げて躉の躉を探しながら下っていました。下山時刻は14:00です。天気が良く暑かったせいもあり、喉がからからでした。

14:20に駐車場を後にして温泉(湯沢健康ランド)には14:35に着きました。16:00まで温泉で汗を流し、疲れを癒し、ビールで喉を潤しました。この施設ではたくさんの立派な錦鯉が飼われておりました。

帰りは16:15湯沢IC⇒(関越自動車道)⇒17:20高崎JCT⇒(北関東自動車道)⇒17:55岩舟JCT⇒(東北自動車道)⇒久喜ICのルートで帰りました。せんげん台に着いたのが20:10で、その後はいつもの様に中華食堂で反省会を行って21:30の帰宅でした。

今回の山行は天候に恵まれ、景色、新緑、花々が楽しかった最高の山行となりました。リーダーの藤井さん、会計係の西川さん、中島さんははじめ皆様ありがとうございました。



↑飯土山 山頂からのパノラマ



↑ビニールシートのソリではしゃぐ藤井リーダー



↑下りの休憩。

2014年6月山行の案内

入笠山 (にゅうかさやま)

『花の百名山』入笠山(ニュウカサヤマ)は四季折々の花々や手つかずの自然を満喫できる自然の宝庫です。8人乗りゴンドラを使い入笠湿原や入笠山山頂へのお手軽トレッキングはいかがですか?また、入笠山山頂からは富士山をはじめ南・中央・北アルプスまでを見渡すことができ、数えると深田久弥の「日本百名山」のうち22山を見ることができます



【日 時】6月1日(日)

【集 合】せんげん台 5時45分 春日部 6時00分

【持 物】弁当、お風呂セット、雨具、登山靴、もしくはハイキング靴

【入 浴】湯つたの湯 ¥500

【申込み】5月22日現在、2名の余裕あり。希望者は担当リーダーまで